

2015年3月31日

医療機関等との透明性に関する指針

日科ミクロン株式会社

日科ミクロン株式会社はこれまでもコンプライアンスを重視した経営を行ってまいりましたが、今般、日本医療機器産業連合会から公表されました「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」の趣旨に賛同し、当社の事業活動が医学・医療工学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、及び、その活動が高い倫理性を担保とした上で行われていることについて、広く理解を得ることを目的に当社が医療機関等に対して行った金銭提供について、公開することを目的に「医療機関等との関係の透明性に関する指針」を弊社の指針として定め、弊社の事業活動に伴う医療機関・医療関係者等の資金提供実績の情報を下記の内容で公開致します。

記

1. 公開方法

当社から医療機関・医療関係者に対して行った資金提供について、前年度分の資金提供を当該年度の決算終了後、当社ホームページ上で公開します。

2. 公開時期

2013年度分(2013年4月1日から2014年3月31日まで)までの資金提供について、2014年11月20日までに公開します。以降、毎年、4月1日から翌年3月31日までの当該年度分を11月20日までに公開します。尚、2013年度分に関しては2015年3月末日に公開させていただきました。

公開対象

A.研究費開発費等

公的規制のもとで実施される各種試験、報告、調査等(臨床試験、治験、製造販売後臨床試験、不具合・感染症症例報告、製造販売後調査等)及び企業が独自に行う調査等の費用が含まれます。

1. 共同研究費 年間の総額
2. 委託研究費 年間の総額
3. 臨床試験費 年間の総額
4. 製造販売後臨床試験費 年間の総額

5. 不具合・感染症症例報告費 年間の総額

6. 製造販売後調査費 年間の総額

B.学術研究助成費

医療技術の学術振興や研究助成を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、及び学会等の会合開催費用を支援するための学会寄附金、学会共催費等が含まれます。

1. 奨学寄附金 研究機関毎の年間の件数と総額

(例) ○○大学○○教室：○○件○○円

2. 一般寄附金 研究機関毎の年間の件数と総額

(例) ○○大学(○○財団)：○○件○○円

3. 学会寄附金 学会毎の寄附額

(例) 第○回○○学会(○○地方会・○○研究会)：○○円

4. 学会共催費 学会毎の支払額

(例) 第○回○○学会○○セミナー：○○円

C.原稿執筆料等

当社医療機器の適正使用等に関する情報提供のための講演や原稿執筆、コンサルティング等業務委託に関する費用が含まれます。

1. 講師謝金 医療関係者毎の年間の件数と総額

(例) ○○大学(○○病院)：○○科○○教授(部長)：○○件○○円

2. 原稿執筆料・監修料
医療関係者毎の年間の件数と総額

(例) ○○大学(○○病院)：○○科○○教授(部長)：○○件○○円

3. コンサルティング等業務委託費 医療関係者毎の年間の件数と総額

(例) ○○大学(○○病院)：○○科○○教授(部長)：○○件○○円

D.情報提供関連費

医療関係者に対する当社医療機器の適正使用、安全使用のために必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれます。

1. 講演会費 年間の件数・総額

2. 説明会費 年間の件数・総額

3. 医学・医療工学関連文献等提供費 年間の総額

E.その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用。 1. 接遇等費用 年間の総額

以上